



2024年10月 現在

Fujitsu Software

Interstage List Works Enterprise Extended Edition for Modernization V11.0.0

本商品は、多様なプラットフォームから出力された帳票を集約し、電子帳票による一元管理とインターネット環境での情報活用を実現する電子帳票システムです。日々の業務で生成される帳票をセンターで一元管理し、管理されている情報に従って配信や出力ができます。配信した帳票の状態の監視や、必要に応じてエラーリカバリや再出力などの操作も可能です。本製品の利用により、帳票の電子化によるコスト削減とともに、PDF参照・配信による情報活用により、業務効率の向上を実現します。Webアプリケーションと連携したオンラインシステムや、バッチ処理によるセンターから拠点への帳票配信システムを短期間で構築し、効率良く運用管理できます。

本Editionは、Solaris 帳票資産と帳票運用の継続利用に向けた、Interstage List Worksの特定用途向けのエディションです。

- **サーバ**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **Message Client**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY

- **List Works Workstation**

FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント

- **サーバ**

Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

- **Message Client**

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **List Works Workstation**

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10

1. セールスポイント

- ・ 全社規模での情報共有・活用

Web環境を使用した帳票の運用により、全社規模で情報を共有、活用できます。

- ・ 管理費削減

散在する帳票出力環境を一元管理でき、拠点での管理費が削減できます。

- ・ 業務継続性向上

クラスタ運用により、万一運用系サーバに異常が発生しても待機系サーバが運用を引き継ぎ、業務を続行できます。

- ・ 高可用性運用の実現

マルチサーバ対応により、帳票管理サーバを負荷分散でき、高可用性運用を実現できます。

- ・ Solaris版Interstage List Worksの帳票印刷配信機能からの移行時のプラットフォーム

Solaris版Interstage List Worksの帳票印刷配信機能から移行する際、帳票運用の印刷配信に関わる機能を提供します。

2. 帳票印刷配信機能

帳票出力アプリケーションが出力した帳票、および帳票の出力先・印刷方法などの情報をセンターで一元管理します。

帳票は、センターで大量・高速印刷したり、遠隔地にある拠点へ配信し印刷することができます。

3. 機能詳細

(1) 帳票管理機能

1) 帳票管理サーバ機能

帳票システムにおける帳票の情報、出力先などの各種情報を集中的に管理し、利用ユーザのアクセスコントロールを行ったり、指定された出力先へ帳票出力用のデータを配信したりするサーバ機能です。帳票を配信する以外にも、帳票をPDFファイルやQWFファイルに変換できます。

また、帳票管理サーバで管理されている帳票の情報、出力状況、出力先のデバイスおよび論理あて先などの情報は、Webブラウザから参照・操作することもできます。

2) 論理あて先

仮想的な出力先のことを「論理あて先」と呼びます。

業務アプリケーションでは、論理あて先名を指定するだけで、論理あて先に対応付けされている実際の出力先に、帳票を配信することができます。業務アプリケーションで物理的な出力先を指定する必要がないため、出力先の増減や出力先の変更などのシステム構成変更にも柔軟に対応できます。

3) 操作画面

Webブラウザから帳票管理サーバに接続して、論理あて先や帳票の状態を確認します。また、論理あて先の起動・停止、再出力などの操作も行えます。

4) 帳票ブラウザ

Webブラウザから帳票管理サーバに接続して、出力先や種類（紙帳票、電子帳票など）が異なる帳票を、ユーザ単位またはユーザグループ単位で一覧表示できます。帳票の出力時には、指定した出力先やWebクライアントに定義されているプリンタ（手元プリンタ）へ出力できます。

5) 印刷エラー通知

到着通知パネルを使用することで、帳票出力サーバで検出された印刷のエラーをリアルタイムに特定の端末に表示します。

(2) 帳票出力機能

1) Agent機能

帳票管理サーバから配信された帳票出力用データを元に印刷データを作成して、帳票を出力する機能です。出力方法は、印刷とPDFファイル変換ができます。また、印刷エラーを検出して通知することもできます。Interstage List Works Print Agentが必要です。

2) Workstation機能

帳票管理サーバから配信された帳票出力用データを元に印刷データを作成して、帳票を出力する機能です。出力方法は、印刷のみです。

Interstage List Worksに同梱されているList Works Workstationモジュールが必要です。

3) Web手元印刷機能

クライアントのWeb端末で帳票を印刷したり、プレビューしたりする機能です。帳票をOWFファイル形式でプレビューする場合には、Interstage List Creatorに同梱されているWebプラグインが必要です。

(3) 連携機能

Linux、Windows、Solarisの各サーバの業務アプリケーション、またはNetCOBOLのアプリケーションとInterstage List Creator Connectorにて連携し、帳票管理サーバに帳票を転送できます。帳票管理サーバと業務アプリケーションサーバを異なるコンピュータで運用し、業務アプリケーションの処理と帳票管理を分離することで、各サーバの負荷を分散できます。

(4) 高信頼システム

1) クラスタシステムでの運用

クラスタ運用（1対1の運用待機型形態）により、万一運用系サーバに異常が発生しても待機系サーバが運用を引き継ぎ、業務を続行できます。

2) マルチサーバ対応

複数台の帳票管理サーバを並列で動作させるマルチサーバ運用に対応し、帳票管理サーバを負荷分散できます。また、業務拡大に合わせて帳票管理サーバを追加したり、故障した帳票管理サーバを運用から切り離して縮退運転したりすることにより、高可用性運用を実現します。

4. 利用による効果

・情報の共有、活用

Web環境を使用した帳票の運用により、全社規模で情報を共有、活用することができます。

・コストダウンの実現

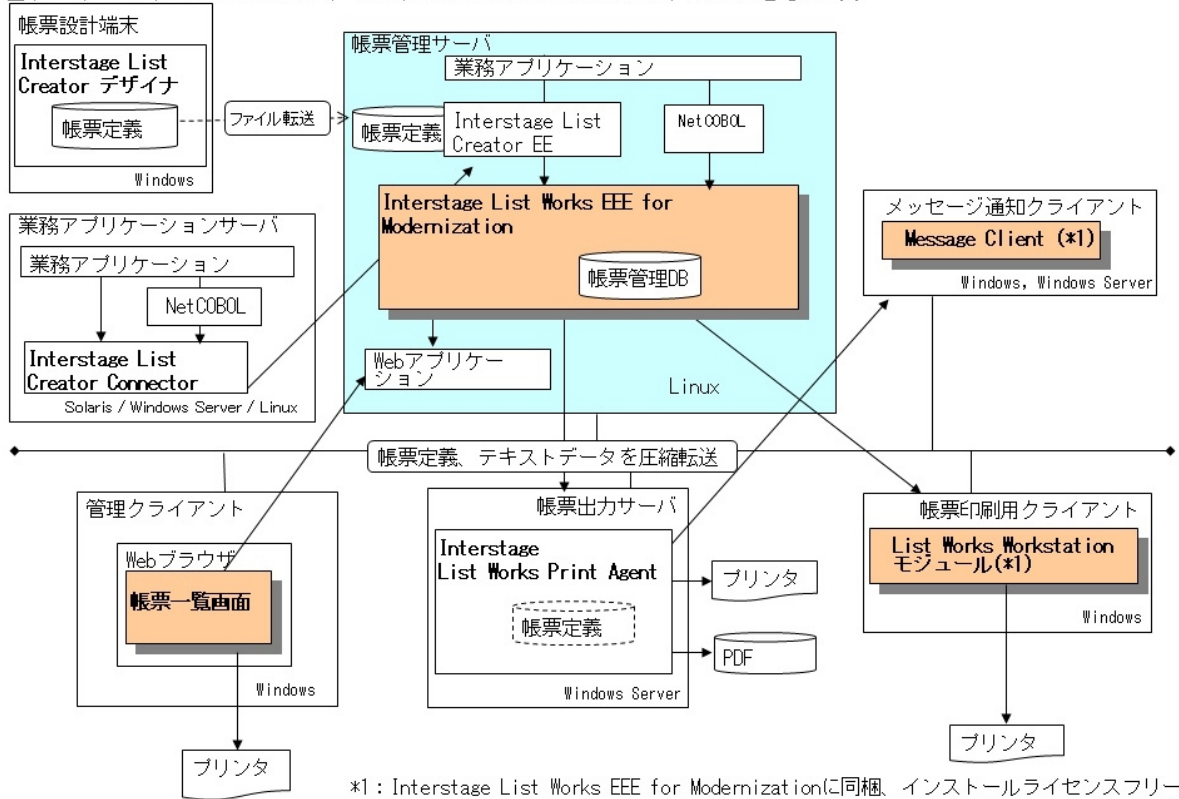
散在する帳票出力環境を一元管理することができるため、拠点での管理費が削減できます。

・企業イメージの向上

エコロジーへの取り組みにより、企業イメージのアップが図れます。

帳票配信・出力(帳票印刷配信機能)

図中では、Enterprise EditionをEEと、Enterprise Extended EditionをEEEと、それぞれ省略します。



*1: Interstage List Works EEE for Modernizationと同梱、インストールライセンスフリー

新商品のためありません。

・ オンラインマニュアル

- ・ 帳票印刷配信機能 マニュアル体系と読み方
- ・ 帳票印刷配信機能 スタートガイド
- ・ 帳票印刷配信機能 セットアップガイド
- ・ 帳票印刷配信機能 セットアップガイド クラスタ編
- ・ 帳票印刷配信機能 運用ガイド
- ・ 帳票印刷配信機能 運用ガイド 帳票ブラウザ編
- ・ 帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票出力編
- ・ 帳票印刷配信機能 アプリケーション作成ガイド 帳票管理編
- ・ 帳票印刷配信機能 PDF運用ガイド
- ・ 帳票印刷配信機能 メッセージ集
- ・ 帳票印刷配信機能 用語集
- ・ 帳票印刷配信機能 トラブルシューティング
- ・ 帳票印刷配信機能 インストールガイド
- ・ Webクライアントご使用になる前に（帳票印刷配信機能）
- ・ 性能情報

【メディアパック】

- ・ Interstage List Works Enterprise Extended Edition for Modernization メディアパック (64bit) V11

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ Interstage List Works Enterprise Extended Edition for Modernization プロセッサライセンス for Linux (SL&S)

[サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- ・ Interstage List Works Enterprise Extended Edition for Modernization プロセッサライセンス for Linux (SL&S) 7年

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(CD/DVD等)のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。初回購入時には、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス/サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ/レベルアップすることはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要なライセンスです。

- ・ シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・ マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数(小数点以下端数切上げ)分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

3. クラスタシステム(運用待機形態)で運用する場合の購入方法

1対1運用待機形態で運用する場合は、2ノードを1システムと考えて、1システムに本商品を1つ購入することで使用することができます。

4. 本商品に含まれるコンポーネントについて

本商品に含まれる以下のコンポーネントは、複数のコンピュータにインストールして本商品と組み合わせて使用することができます。

- ・ Message Client
- ・ List Works Workstation

5. サブスクリプションライセンス/サポートでの最新プログラムの提供について

サブスクリプションライセンス/サポート契約の一環として、最新バージョン/レベルのプログラムを提供いたします。(お客様からのご要求が必要です。)

6. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ(以下「運用系コンピュータ」といいます)と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ(以下「待機系コンピュータ」といいます)により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号、またはライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) 本商品に含まれるコンポーネントについて

対象プログラムに含まれる機能の一部である「Message Client」、「List Works Workstation」については、お客様はサブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号、またはライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法」第(1)号にかかわらず、日本国内において複数のコンピュータにインストールして使用することができます。

(3) 同梱する機能の使用について

お客様は、対象プログラムに含まれる機能の一部であるInterstage Application Server、Symfoware Serverを、お客様がInterstage List Worksをサブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書の定めに従って使用する目的でのみ、使用できます。それ以外の目的では使用できません。

(4) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

1. 必須ソフトウェア

注)製品バージョンレベルに「～以降」と表記されているものについては、表記しているV/L以降で、かつ2024年6月までに出荷されている製品のサポートとなります。

(1) 帳票管理サーバの帳票設計/帳票登録機能として以下が必要です。

- Linux版 Interstage List Creator Enterprise Edition V11.1.0

(2) 帳票管理サーバのList Manager管理データベースとしてSymfowareまたはOracleのいずれかが必要です。

- Symfowareの場合
 - ・ Linux版 Symfoware Server Enterprise Edition (Nativeインターフェース) V12a (V12.7.0)
- Oracleの場合

以下のいずれかが必要です。

- ・ Linux版 Oracle Database Enterprise Edition 19c
- ・ Linux版 Oracle Database Standard Edition 2 19c

(3) 帳票管理サーバのWebアプリケーションサーバとして以下のいずれかが必要です。

- Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0
- Interstage Business Application Server Enterprise Edition (64bit) V13a (V13.1.0)

(4) Webクライアントでは以下のいずれかが必要です。

- Microsoft Edge
- Google Chrome

2. 帳票管理サーバ

注)製品バージョンレベルに「～以降」と表記されているものについては、表記しているV/L以降で、かつ2024年6月までに出荷されている製品のサポートとなります。

(1) COBOL アプリケーション連携機能を利用する場合

以下のいずれかが必要です。

- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ (64bit) V13.0.0
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ (64bit) V13.0.0
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ (64bit) V13.0.0
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit) V13.0.0
- NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ (64bit) V13.0.0
- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ (64bit) V13.0.0

(2) クラスタ運用をする場合

以下のいずれかが必要です。

- PRIMECLUSTER Enterprise Edition 4.6A20～4.7A00
- PRIMECLUSTER HA Server 4.6A20～4.7A00
- PRIMECLUSTER Clustering Base 4.6A20～4.7A00(注1)
- PRIMECLUSTER GD 4.6A20～4.7A00(注1)

注1：

片方のみの使用は不可。組み合わせて使用する必要があります。

List Manager管理データベースがOracleの場合は、上記の製品に対応する以下の製品も必要です。

- PRIMECLUSTER Wizard for Oracle

(3) Centric Manager のログ監視機能と連携する場合

以下のいずれかが必要です。

- Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition V17
- Systemwalker Centric Manager Standard Edition V17

(4)List Creatorの帳票出力において、帳票定義情報を帳票出力サーバ転送する場合

- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V10.0.1以降

3. 帳票出力サーバ (List Works Print Agent)

注)製品バージョンレベルに「～以降」と表記されているものについては、表記しているV/L以降で、かつ2024年6月までに出荷されている製品のサポートとなります。

(1)印刷ドキュメントの管理・操作を行う場合

- Interstage Print Manager V9.1.3

(2)COBOLアプリケーション連携機能を利用してEBCDIC/JEF コード系を使用する場合

- JEF拡張漢字サポート V9.3.0

(3)外字を使用する場合

- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V10.0.0以降

(4)JEF拡張文字の明朝フォントを使用する場合

- JEF 拡張漢字サポート V7.2以降

(5)JEF拡張文字のゴシックフォントを使用する場合

- JEF ゴシックフォント V3.1

(6)XML形式の入力データを使用する場合

以下の両方が必要です。

- ・ Fujitsu XML Library V3.0 以降
- ・ 以下のWebブラウザのいずれかが必要
- Microsoft Edge
- Google Chrome

4. 帳票出力サーバ (List Works Workstation)

注)製品バージョンレベルに「～以降」と表記されているものについては、表記しているV/L以降で、かつ2024年6月までに出荷されている製品のサポートとなります。

(1)印刷ドキュメントの管理・操作を行う場合

- Interstage Print Manager V9.1.3

(2)COBOLアプリケーション連携機能を利用してEBCDIC/JEF コード系を使用する場合

- JEF拡張漢字サポート V7.2L10

(3)外字を使用する場合

- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V10.0.0以降

(4)JEF拡張文字の明朝フォントを使用する場合

- JEF 拡張漢字サポート V7.2以降

(5)JEF拡張文字のゴシックフォントを使用する場合

- JEF ゴシックフォント V3.1

(6)XML形式の入力データを使用する場合

以下の両方が必要です。

- ・ Fujitsu XML Library V3.0～V5.2
- ・ 以下のWebブラウザのいずれかが必要
- Microsoft Edge
- Google Chrome

5. Webクライアント

注)製品バージョンレベルに「～以降」と表記されているものについては、表記しているV/L以降で、かつ2024年6月までに出荷されている製品のサポートとなります。

(1)OWFファイルをプレビュー/印刷する場合

- Interstage List Creatorの製品媒体に添付されているWeb プラグイン

(2)PDFファイルをプレビュー/印刷する場合

以下のいずれかが必要です。

- Acrobat
- Acrobat Reader

(3)JEF拡張文字の明朝フォントを使用する場合

- JEF 拡張漢字サポート V7.2以降

(4)JEF拡張文字のゴシックフォントを使用する場合

- JEF ゴシックフォント V3.1

(5)XML形式の入力データを使用する場合

- Fujitsu XML Library V3.0～V5.2

6. 帳票を設計する場合

(1>List Manager 帳票出力インタフェース、コネクタ連携機能を利用する場合

- Interstage List Creator デザイナ V6.0L10 以降

(2)COBOL アプリケーション連携機能を利用する場合

以下のいずれかが必要です。

- NetCOBOL
- FORM

関連ハードウェアは、「留意事項」の「関連ハードウェア」を参照ください。

留意事項

1. List Works同梱のデータベース (Symfoware)、またはSymfoware Server V12.7.0を別途手配してインストールする場合

- ・データベースの文字コードは、UTF8、またはSJISを選択してください。

2. 本商品に含まれる機能

本商品には、Interstage Application Server Enterprise Edition V13(13.1.0)相当の機能、Symfoware Server Enterprise Edition V12a(12.7.0)相当の機能が含まれています。

3. 同梱しているInterstage Application Server

List Worksに必要な環境を構築するために、Interstage Application ServerのWebサーバ、OpenJDK8、Webサーバコネクタ、Interstage管理コンソール、GlassFish 5.1ベースのJava実行環境機能を使用します。その他のInterstage Application Serverの機能、ユーザWebアプリケーションの開発・運用、および本ソフトウェアのマニュアルや製品ドキュメントで記述している以外の方法・手順などでInterstage Application Serverを使用することはできません。

上記に該当する場合、別途Interstage Application Serverの製品を購入する必要があります。

4. 同梱しているSymfoware Server

同梱しているSymfoware ServerはList Works専用であり、ユーザアプリケーションや他製品で使用することはできません。

5. 罫線文字の接続

表示およびパソコンプリンタ印刷時、罫線文字の接続は行われません。

6. 帳票データの連携機能、および検索機能で利用できる文字種

帳票データの連携機能、および検索機能で利用できる文字種は、ANK、JIS第1水準非漢字・漢字、およびJIS第2水準漢字の範囲です(ただし、Interstage Charset Manager Standard Edition Agentを使用した外字連携機能により一部の外字も使用可。外字にはJEF第1水準/第2水準の旧字体、シフトJISコードのベンダ固有文字/利用者定義文字が含まれます。)

7. 関連ハードウェア

- ・帳票印刷配信機能のデータベースに Symfoware を使用する場合

Symfoware Serverをインストールしたマシンの磁気ディスク装置にローデバイスで使用する4パーティション分の領域が必要です(4パーティションはすべて各機能のデータベースで使用します)。

- ・プリンタ装置

8. 排他ソフトウェアについて

同梱版Symfoware Server Enterprise Edition (Nativeインターフェース) V12a (V12.7.0)、および同梱版Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0を使用する場合は排他ソフトウェアが存在します。

以下のマニュアルをご覧ください。

- ・Symfoware Server Enterprise Edition (Nativeインターフェース) V12a (V12.7.0) : 「インストールガイド (サーバ編)」

- ・Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0 : 「インストールガイド」

マニュアルについては、「関連 URL」に記載の「ソフトウェア：富士通 (マニュアル)」を参照してください。

お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（Interstage List Works）**

本商品の詳細は、以下のInterstageホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/listworks/>

- **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**

価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration>

- **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>

- **ソフトウェア：富士通（マニュアル）**

富士通のソフトウェア製品に添付されているマニュアルが閲覧できます。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/manual/>